

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月1日

岐阜県知事 殿

提出者

住 所 岐阜県高山市江名子町3246番地11

氏 名 株式会社 林工務店

代表取締役 林俊宏

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0577-34-0341

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 林工務店
事業場の所在地	岐阜県高山市江名子町3246番地11
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	岐阜県内元請負完成工事高 2,550百万円（令和4年度）
③従業員数	37人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

（日本産業規格 A列4番）



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添 2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 設計、施工方法を検討して、廃棄物の発生量を出来る限り少なくする。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 当社社員及び下請会社に対し、産業廃棄物処理方法について教育をする。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現場内での分別において、廃棄物の種類・分別方法を標示し、他の廃棄物に混入しないよう注意を施している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 社員及び下請会社に対し、不法投棄・不適正保管・野焼き等の禁止や、再生利用の推進・作業現場における分別の徹底を教育する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	（これまでに実施した取組） 砕石などできるだけリサイクル品を購入する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） 自ら再生利用が可能な廃棄物かどうかの選別の徹底		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 自己中間処理が可能な廃棄物かどうかの選別の徹底		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・委託する業者の許可証を必ず確認し、許可証の写しの提出を求め保管する。 ・契約更新時にも必ず提出を求める。 ・委託にあたっては、処理業者の処理能力を確認して委託する。 		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ マニフェストにより、適正処理を確認する。 ・ 廃棄物軽量伝票により、適正処理を確認。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添 1 処理工程図

建築工事・土木工事から発生した廃棄物
コンクリート、アスファルト、金属くず、木くず、プラスチック、石膏ボード、紙くず等
↓
処分委託業者・市処分場へ

別添 2 管理体制図



産業廃棄物処理状況(令和4年度実績)

産業廃棄物の種類(性状)	コンクリート	アスファルト	木くず	プラスチック
産業廃棄物の発生源(製造工程等)	解体新築工事及び土木工事	解体新築工事及び土木工事	解体新築工事及び土木工事	解体新築工事及び土木工事
特別管理産業廃棄物の有害特性 (該当するものがあれば○印)	Hg Cd Pb Cr6+ As CN PCB トリクロハ°-クロ腐食性揮発性感染性	Hg Cd Pb Cr6+ As CN PCB トリクロハ°-クロ腐食性揮発性感染性	Hg Cd Pb Cr6+ As CN PCB トリクロハ°-クロ腐食性揮発性感染性	Hg Cd Pb Cr6+ As CN PCB トリクロハ°-クロ腐食性揮発性感染性
(1)発生量(以下 t/年)	597.14 t	476.94 t	679.20 t	60.04 t
(2)そのまま売却した量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
(3)排出量 [(1)-(2)]	597.14 t	476.94 t	679.20 t	60.04 t
自社 中間 処理	(4)自社で中間処理した量	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(5)中間処理方法	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(6)処理後の残さ量	0.00 t	0.00 t	0.00 t
(7)処分対象量 [(3)-(4)+(6)]	597.14 t	476.94 t	679.20 t	60.04 t
中間 処理 委託 再生 委託 等	(8)市町村処理量(焼却量)	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(9)業者中間委託	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(10)(中間処理後の)売却量	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(11)自社で再利用した量	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	自社再利用方法	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(12)資源化・再生委託量	597.14 t	679.20 t	60.04 t
最終 処分	(13)市町村処理量(埋立)	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(14)自社最終処分量	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(15)業者最終処分委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t
(16)保管量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

廃棄物の種類が多い場合は別葉に別葉にすること。

産業廃棄物処理状況(令和4年度実績)

産業廃棄物の種類(性状)	混合(安定型)	混合(管理型)	陶器・ガラス	紙くず
産業廃棄物の発生源(製造工程等)	解体新築工事及び土木工事	解体新築工事及び土木工事	解体新築工事及び土木工事	解体新築工事及び土木工事
特別管理産業廃棄物の有害特性 (該当するものがあれば○印)	Hg Cd Pb Cr6+ As CN PCB トリクロハ°-クロ腐食性揮発性感染性	Hg Cd Pb Cr6+ As CN PCB トリクロハ°-クロ腐食性揮発性感染性	Hg Cd Pb Cr6+ As CN PCB トリクロハ°-クロ腐食性揮発性感染性	Hg Cd Pb Cr6+ As CN PCB トリクロハ°-クロ腐食性揮発性感染性
(1)発生量(以下t/年)	27.85 t	61.73 t	653.60 t	0.60 t
(2)そのまま売却した量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
(3)排出量 [(1)-(2)]	27.85 t	61.73 t	653.60 t	0.60 t
自社 中間 処理	(4)自社で中間処理した量	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(5)中間処理方法	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(6)処理後の残さ量	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(7)処分対象量 [(3)-(4)+(6)]	27.85 t	61.73 t	0.60 t
中間 処理 委託 再生 委託 等	(8)市町村処理量(焼却量)	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(9)業者中間委託	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(10)(中間処理後の)売却量	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(11)自社で再利用した量	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	自社再利用方法	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(12)資源化・再生委託量	27.85 t	61.73 t	0.60 t
最終 処分	(13)市町村処理量(埋立)	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(14)自社最終処分量	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(15)業者最終処分委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(16)保管量	0.00 t	0.00 t	0.00 t

廃棄物の種類が多い場合は別葉にすること。

産業廃棄物処理状況（令和4年度実績）

産業廃棄物の種類（性状）	金属	石膏	石綿	その他
産業廃棄物の発生源（製造工程等）	解体新築工事及び土木工事	解体新築工事及び土木工事	解体新築工事及び土木工事	解体新築工事及び土木工事
特別管理産業廃棄物の有害特性 （該当するものがあれば○印）	Hg Cd Pb Cr6+ As CN PCB トリクロハ°-クロ腐食性揮発性感染性	Hg Cd Pb Cr6+ As CN PCB トリクロハ°-クロ腐食性揮発性感染性	Hg Cd Pb Cr6+ As CN PCB トリクロハ°-クロ腐食性揮発性感染性	Hg Cd Pb Cr6+ As CN PCB トリクロハ°-クロ腐食性揮発性感染性
(1) 発生量（以下 t/年）	22.15 t	53.64 t	3.39 t	6.00 t
(2) そのまま売却した量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
(3) 排出量 [(1)-(2)]	22.15 t	53.64 t	3.39 t	6.00 t
自社 中間 処理	(4) 自社で中間処理した量	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(5) 中間処理方法	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(6) 処理後の残さ量	0.00 t	0.00 t	0.00 t
(7) 処分対象量 [(3)-(4)-(6)]	22.15 t	53.64 t	3.39 t	6.00 t
中間 処理 委託 再生 委託 等	(8) 市町村処理量（焼却量）	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(9) 業者中間委託	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(10)（中間処理後の）売却量	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(11) 自社で再利用した量	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	自社再利用方法	0.00 t	0.00 t	0.00 t
最終 処分	(12) 資源化・再生委託量	22.15 t	53.64 t	6.00 t
	(13) 市町村処理量（埋立）	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(14) 自社最終処分量	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(15) 業者最終処分委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(16) 保管量	0.00 t	0.00 t	0.00 t

廃棄物の種類が多い場合は別葉にすること。

産業廃棄物処理状況（令和5年度 目標）

産業廃棄物の種類（性状）	コンクリート	アスファルト	木くず	プラスチック
産業廃棄物の発生源（製造工程等）	解体新築工事及び土木工事	解体新築工事及び土木工事	解体新築工事及び土木工事	解体新築工事及び土木工事
特別管理産業廃棄物の有害特性 （該当するものがあれば○印）	Hg Cd Pb Cr6+ As CN PCB トリクロハ°-クロ腐食性揮発性感染性	Hg Cd Pb Cr6+ As CN PCB トリクロハ°-クロ腐食性揮発性感染性	Hg Cd Pb Cr6+ As CN PCB トリクロハ°-クロ腐食性揮発性感染性	Hg Cd Pb Cr6+ As CN PCB トリクロハ°-クロ腐食性揮発性感染性
(1)発生量（以下 t/年）	537.4 t	429.3 t	611.3 t	54.0 t
(2)そのまま売却した量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
(3)排出量 [(1)-(2)]	537.4 t	429.3 t	611.3 t	54.0 t
自社 中間 処理	(4)自社で中間処理した量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(5)中間処理方法	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(6)処理後の残さ量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
(7)処分対象量 [(3)-(4)+(6)]	537.4 t	429.3 t	611.3 t	54.0 t
中間 処理 委託 再生 委託 等	(8)市町村処理量（焼却量）	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(9)業者中間委託	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(10)（中間処理後の）売却量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(11)自社で再利用した量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	自社再利用方法	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(12)資源化・再生委託量	429.3 t	611.3 t	54.0 t
最終 処分	(13)市町村処理量（埋立）	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(14)自社最終処分量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(15)業者最終処分委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
(16)保管量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t

廃棄物の種類が多い場合は別葉にすること。

産業廃棄物処理状況(令和5年度 目標)

産業廃棄物の種類(性状)	混合(安定型)	混合(管理型)	陶器・ガラス	紙くず
産業廃棄物の発生源(製造工程等)	解体新築工事及び土木工事	解体新築工事及び土木工事	解体新築工事及び土木工事	解体新築工事及び土木工事
特別管理産業廃棄物の有害特性 (該当するものがあれば○印)	Hg Cd Pb Cr6+ As CN PCB トリクロハ°-クロ腐食性揮発性感染性	Hg Cd Pb Cr6+ As CN PCB トリクロハ°-クロ腐食性揮発性感染性	Hg Cd Pb Cr6+ As CN PCB トリクロハ°-クロ腐食性揮発性感染性	Hg Cd Pb Cr6+ As CN PCB トリクロハ°-クロ腐食性揮発性感染性
(1)発生量(以下 t/年)	25.1 t	55.6 t	588.2 t	0.5 t
(2)そのまま売却した量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
(3)排出量 [(1)-(2)]	25.1 t	55.6 t	588.2 t	0.5 t
自社 中間 処理	(4)自社で中間処理した量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(5)中間処理方法	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(6)処理後の残さ量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(7)処分対象量 [(3)-(4)+(6)]	25.1 t	55.6 t	0.5 t
中間 処理 委託 再生 委託 等	(8)市町村処理量(焼却量)	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(9)業者中間委託	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(10)(中間処理後の)売却量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(11)自社で再利用した量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	自社再利用方法	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(12)資源化・再生委託量	25.1 t	55.6 t	0.5 t
最終 処分	(13)市町村処理量(埋立)	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(14)自社最終処分量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(15)業者最終処分委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(16)保管量	0.0 t	0.0 t	0.0 t

廃棄物の種類が多い場合は別葉にすること。

産業廃棄物処理状況(令和5年度目標)

産業廃棄物の種類(性状)	金属	石膏	石綿	その他
産業廃棄物の発生源(製造工程等)	解体新築工事及び土木工事	解体新築工事及び土木工事	解体新築工事及び土木工事	解体新築工事及び土木工事
特別管理産業廃棄物の有害特性 (該当するものがあれば○印)	Hg Cd Pb Cr6+ As CN PCB トリクロハ°-クロ腐食性揮発性感染性	Hg Cd Pb Cr6+ As CN PCB トリクロハ°-クロ腐食性揮発性感染性	Hg Cd Pb Cr6+ As CN PCB トリクロハ°-クロ腐食性揮発性感染性	Hg Cd Pb Cr6+ As CN PCB トリクロハ°-クロ腐食性揮発性感染性
(1)発生量(以下t/年)	19.9 t	48.3 t	3.1 t	5.4 t
(2)そのまま売却した量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
(3)排出量 [(1)-(2)]	19.9 t	48.3 t	3.1 t	5.4 t
自社 中間 処理	(4)自社で中間処理した量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(5)中間処理方法	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(6)処理後の残さ量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
(7)処分対象量 [(3)-(4)+(6)]	19.9 t	48.3 t	3.1 t	5.4 t
中間 処理 委託 再生 委託 等	(8)市町村処理量(焼却量)	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(9)業者中間委託	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(10)(中間処理後の)売却量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(11)自社で再利用した量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	自社再利用方法	0.0 t	0.0 t	0.0 t
最終 処分	(12)資源化・再生委託量	19.9 t	48.3 t	5.4 t
	(13)市町村処理量(埋立)	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(14)自社最終処分量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(15)業者最終処分委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t
	(16)保管量	0.0 t	0.0 t	0.0 t

廃棄物の種類が多い場合は別葉にすること。